



令和2年度口加高校キャッチフレーズ

輝こうか! 君も口加で Realize Your Dream!



第26代
竹嶋潤一 校長

「今年の漢字」



もうすぐ令和2年も終わります。年号が平成から令和に変わったときには、なかなか「令和」という響きがしっくりこなかったのですが、2年も経つとすっかり馴染んでいます。馴れとは不思議なものです。

26年目となった「今年の漢字」が京都の清水寺で発表されました。多くの人の予想どおり(?)「密」でした。何かにつけ「三密(密集・密接・密閉)」というフレーズが使われていたので当然といったところでしょうか。2位から5位にはそれぞれ「禍」、「病」、「新」、「変」がランクインしました。「コロナ禍」「伝染病、病床数」「新しい生活様式、新型コロナウイルス」、「生活の変化」といったことが基にあると思います。世相を反映するので仕方がないといえばそれまでですが、残念ながらあまり良いイメージの持てない漢字が多いようです。

それでも物は考えようです。「禍を転じて福と為す」という故事成語があります。災いや不幸を巧みに処理して、逆に幸福のきっかけになるようにするという意味ですが、そうできる人は逆境に対して肯定的な認識を持っているそうです。誤解がないように言っておきますが、もちろん、新型コロナウイルス感染症で亡くなった方やそのご遺族、また、感染拡大の影響で仕事や生活に大きな支障が生じている方に対するものではありません。しかし、コロナ禍という災いの中で、我々が気づいた良いこともあると肯定的に捉えることはできるのではないのでしょうか。

自分自身や自分の家族のことは後回しにして、中には誹謗中傷に耐えながら、患者の命を救おうと日夜奮闘しておられる医療従事者の方々がおられます。我々の生命を支えてくださっています。そういう方々を励まそうとブルーインパルスが空を飛んでくれました。営業自粛に追い込まれた飲食店では、自分の生活も大変なのに、こういう時だからこそできることがあると、医療従事者や学校休業中の子どもたちにお弁当を無料で提供した方々がおられます。そして、そういう飲食店の方へ食材を寄付する生産者の方もおられました。保育士の方々、介護職員の方々も感染防止に気を配りながら乳幼児や施設利用者を受け入れ、我々の生活を支えてくれています。そういう方々に対し、応援メッセージ動画を発信するということもありました。たいへんな社会状況ではありますが、我々はお互いに支え合っているということが実感できました。私は今年の漢字として、支援、支え合いの「支」も考えられると思っています。

コロナに振り回されたまま令和2年に別れを告げるのは悔しいですが、東京オリンピックが開催される来年は、きっと「金」がその年の漢字になることを心から祈っています。皆様、良いお年をお迎えください。

★アメリカの外交官と話そう ～グローバルランチセミナー for Nagasaki youth～基調講演会

10月からグローバルコース1、2年生が参加している、長崎県立大学主催のグローバルランチセミナーが12月9日(水)で最終回を迎えました。アメリカの外交官による選挙、政治、経済など多岐に渡る内容のセミナーを視聴しました。

＜講演に関する生徒のポートフォリオから抜粋＞

- ・良い、悪いとすぐ判断するのではなく、すべての意見を尊重することがリーダーには必要。
- ・日本人はグループを大切にすることが、自分の正しいと思うことに従って行動することも大切だと感じた。



★イルカウォッチングモニター体験

12月8日(火)、加津佐町にあるイルカウォッチングの業者の方からモニターの依頼があり2年グローバルコースの生徒が参加しました。業者の方から前日までイルカが行方不明とのことで当日イルカが現れるか不安でした。しかし、心配をよそに当日の朝、イルカがいつもの場所に現れたと一報が入りひと安心。午後、グローバル探究の時間は、イルカをはじめて間近で見る生徒が多く、歓声を上げたり、はしゃいだりで船上は興奮の嵐でした。

★3年保育園実習

12月15日(火)、極寒のタイミングで保育園実習を行いました。早朝の気温マイナス2℃、やっと冬らしい天候となりましたが、今日の散歩コースは海沿い、川沿いがあり、学校のジャージでは耐えられないほどの寒さでした。

しかし、どんなところを歩いても“子どもは風の子”元気な子で、楽しくおしゃべりをしながら、地域のすれ違う方々には大声で挨拶をしながら、約1時間歩きました。

こうやって子どもたちは心と身体を鍛えていくんですね!



福祉科

★福祉科2年「介護実習」を実施

12月7日(月)から3日間、福祉科2年生が地域の介護施設において介護実習を行いました。

7月の実習から約5か月ぶりに会った利用者の方のなかには、体調が変化している方もおられました。そのような変化に対し、適切なサービスを提供するためには、確かな知識・技術・福祉マインドが必要だと実感しました。私もこの3つを兼ね備えた人になれるよう努力していきたいと思います。

★長崎県高校生福祉体験発表会

発表する前はとても緊張して、先に発表する人の話を聞く余裕が全然ありませんでした。いざ、自分が発表する順番になるとさらに緊張しましたが、練習で指導をいただいたことを意識して柔らかく話をする事ができたと思います。終了後は「堂々としていた」と言葉をいただき、とても嬉しかったです。この経験で、人前で話すのが少しだけうまくなれたかなと思います。



お知らせ

☆大学入学共通テスト

1/16(土)～17(日)

受験!

ラストスパート!

☆校内マラソン大会

2/9(水)、予備日2/12(金)



2年修学旅行「佐世保・平戸・生月・波佐見」に行ってきました！

12月16日(水)、2年生が2泊3日の修学旅行に行ってきました。行き先は、全国的なコロナ感染拡大のため当初の東京方面から山口・広島方面に変更、更に感染拡大のため変更になった県内(佐世保・平戸・波佐見方面)でした。行き先等急な変更でしたが、保護者の皆様方のご支援、ご協力のおかげで無事に帰ってくることができました。ありがとうございました。詳細は、HPをご覧ください。

1日目

バイオパーク



2日目

海きらら



3日目

佐世保駅近郊散策



ハウステンボス



塩俵の断崖(生月)



絵付け体験(波佐見)

「海洋教育フォーラム長崎」に参加して

12月12日(土)、長崎市において開催された「第68回海洋教育フォーラム長崎」に1年グローバルコースの3名が参加してきました。

この大会は、潮流発電や海洋観測などをテーマに、海洋で展開する工学技術の事例や、海洋に関する研究等を若い世代に紹介することにより、海洋や環境科学への関心を高めることを目的としています。今回、高校生としては口加高校が初めて参加しました。グローバルコースの探究活動で、早崎瀬戸の潮流を用いた潮流発電について研究をはじめたばかりでしたので、どの講演もとても参考になる内容でした。

理科教諭 片山 泰成



〔生徒の感想〕

- ・潮流発電の現状、長崎海域の潮流ポテンシャル、浮沈式潮流発電システムの実験の結果について知ることができた。難しいところもあったけど、特に印象に残ったのは、早崎瀬戸の潮流が県内の他の瀬戸よりも速いということだった。自分たちの探究活動も現実離れしていないと自信をもつことができた。
- ・総合討論では、海流発電と潮流発電の違いやメンテナンスの頻度など、気になった疑問点が解決できた。
- ・総合討論では、急にふられることもあったけど、人前で話すことが苦手な私にとってとてもよい経験になった。

1月の主な行事

- 1/03 (日) 3年対外模試(マ)
- 1/04 (月) 3年対外模試(マ)
- 1/05 (火) 全学年冬季補習(～7)
- 1/08 (金) 始業式・大掃除・①②校内実力・容儀指導
- 1/09 (土) 家庭科技術検定1級洋服
- 1/12 (火) ①②進路希望調査、②就公模試
- 1/14 (木) ③大学入学共通テスト出陣式
- 1/15 (金) 福祉科民間講師招聘事業
- 1/16 (土) 共通テスト(～17)、県新人(サッカー)吹奏楽祭
- 1/18 (月) ③自己採点
- 1/19 (火) ③特別編成授業1開始

- 1/21 (木) 防災訓練
- 1/22 (金) 英検1次
- 1/23 (土) ①②対外実力、③補習、被服検定評価会 県新人(バレー・バスケ)
- 1/24 (日) ②対外実力
- 1/26 (火) 探究学習発表大会
- 1/28 (木) ①耳鼻科検診、漢検
- 1/29 (金) ②生創民間講師招聘事業
- 1/30 (土) 全学年補習、県新人(サッカー)



ALTエスター先生コーナー



ALT エスター先生

Expressing thoughts and opinions

In Japan, people often keep their personal opinions and desires private in order to prevent public disagreements and conflict. This is known as *honne* and *tatemae*. In South Africa, however, people openly express their thoughts and opinions, and public debate is often encouraged. Honesty is seen as a sign of respect in South African culture.

考えや意見の表し方

日本では、周りとの相違や衝突を避けるため、個人の意見や願望を表に出さないことがよくあります。これは「本音」と「建前」として知られています。しかし、南アフリカでは、考えや意見を隠さず表現し、公衆での議論は奨励されることが多いです。正直に考えを伝えることが、南アフリカでは敬意の表れとしてみなされているのです。

「人権学習」を実施しました。

12月10日(木)に人権学習を実施しました。今年度は、南島原市立深江中学校より小玉澄香先生を講師にお招きし、「部落差別をじぶんごととして」をテーマに講話をいただきました。生徒たちは、普段あまり意識することのない「同和問題」について知識を深めるとともに、そのような場面に出会ったときに「自分がどう行動するか」を考える機会となりました。



「口加 Happy Lunchtime」(放送部)



12月7日(月)からお昼の校内放送を始めました。名付けて「口加 Happy Lunchtime」。お昼12:30頃から、日ごろの生徒たちの活躍やこれから始まるイベントなどの案内を放送部の生徒たちが紹介します。毎回生徒たちから寄せられるリクエストに応じて、曲も流します。

現在、週1回月曜日の放送ですが、口加高校のお昼のひとときを明るく盛り上げていきます。

「明るく Happy な一週間を！」

税に関する高校生の作文

12月10日(木)に、「税に関する高校生の作文」の優秀作品表彰が校長室で行われました。夏休みに取り組んだ税の作文のうち、2名が表彰を受けました。

島原税務署広報協議会
会長賞 1年4組菅心さん 「もしなくなったら」
優秀賞 1年3組円口愛子さん 「コロナと税金と私」

「歳末たすけあい募金」 & 「街頭募金活動」を行いました。

12月3日(木)に歳末たすけあい募金街頭募金活動を行いました。期末考査終了後、もとやま商店とサンピアに分かれて募金を呼びかけました。だんだん寒くなってきましたが、約70名の生徒が参加しました。

